

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	芸術文化協会補助金			
担当課係名	文化財課	芸術文化係	作成者	伊藤 薫
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 100
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護		
	主要施策	芸術文化団体の振興		
予算費目	一般会計	10款 教育費	5項 社会教育費	4目 文化財保護費
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input checked="" type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民のため、芸術文化を
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	仙北市における芸術文化団体の自主的活動の強化促進を図り、芸術文化の普及振興と市民文化の高揚に寄与する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	芸術文化の普及振興 芸術文化功労者・団体の表彰 芸術文化に係る広報活動 加盟団体の活動促進並びに新たな地域文化の掘り起こし その他目的達成に必要な事項

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績		
効果	活動指標	芸文振興大会	人	146	134		
		芸術文化賞授賞式	人	154	101		
	成果指標	芸文仙北 発行	部	650	650		
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費(人件費を除く)(A)			600	500		
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			600	500	
	人件費(B)			1,571	1,614		
		職員数			0.2	0.2	
		職員平均人件費			7,853	8,071	
(A) + (B) 投下コスト			2,171	2,114			
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			14,870	15,776		
	市民1人当たりのコスト(円)			14,097	20,931		
			68	67			

【事務事業の今までの成果】

仙北市の地域芸術文化の興隆発展と親睦、融和、活性化が図られている。また、専門分野の人材で市事業への協賛が容易となる。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	市町村合併に伴い、芸術文化協会も新しく編成されている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	角館、田沢湖、西木のそれぞれの芸術文化協会の会員が、親睦と融和のもと仙北市芸術文化協会に集い、大きな組織としてスタートしている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続(実施)	市の芸術文化振興にとって要の存在であり、芸術文化振興のため支援する必要がある。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	市の芸術文化振興にとって要の存在であり、芸術文化振興のため支援する必要がある。

一次評価診断図

